

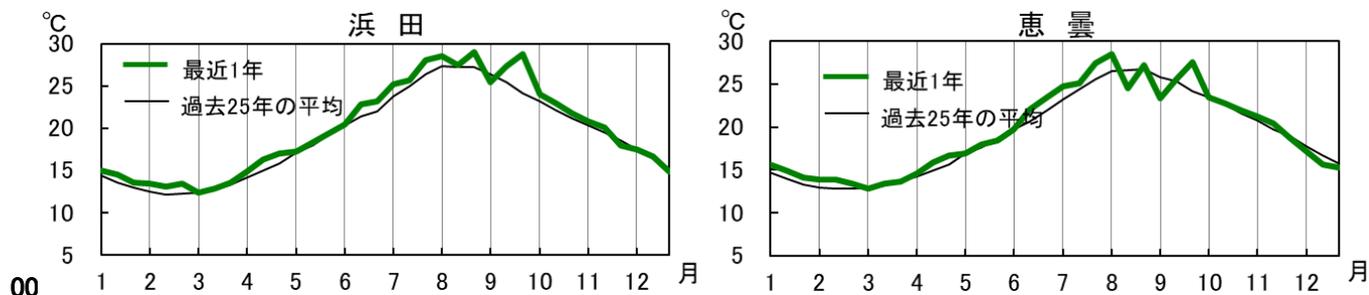


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《12月の海況》



12月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	16.3℃	±0.0℃	やや低め	16.2℃	-0.7℃
中旬	平年並み			やや低め		
下旬	平年並み			やや低め		



《12月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の3割、サバ類は平年の1割未満でした。隠岐地区ではマアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は28.9トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは1,210トンで平年の4.3倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ主体の漁況でした。12月の操業船が1隻のみであったため、漁獲量は非公開とします。西郷地区（属人5トン以上）での漁獲はありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、マダラ、アナゴ・ハモ類を主体に、1統1航海当りの漁獲量は14.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の9割、マダラは平年の1.7倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍でした。その他、マダイは平年の1.7倍と好調でしたが、エソ類は平年の1.0倍、ソウハチおよびマトウダイは平年の8割、アンコウ類およびアカムツは平年の7割、ムシガレイは平年の5割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではニギス、ヤリイカ、ソウハチ主体の漁況で、総漁獲量は122トンでした。1統1航海当りの漁獲量は792kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ニギスは平年の2.0倍、ヤリイカは平年の1.3倍、ソウハチは平年の4割でした。その他、マダラは平年の1.1倍、アナゴ・ハモ類は平年の7割、キダイおよびヒラメは平年の5割、ムシガレイは平年の4割、アンコウ類およびマトウダイは平年の3割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、ソウダガツオ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は12.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の9割、ソウダガツオは平年の4.0倍でした。石見地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1経営当りの漁獲量は4.4トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.1倍、マアジは平年の8割でした。隠岐地区ではソウダガツオ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は8.6トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ソウダガツオが平年の46.7倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は27.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の0.6倍でした。石見地区ではクロマグロ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は26.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の0.7倍、ヒラマサは平年の1.0倍でした。隠岐地区では、クロマグロ、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.5kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の0.3倍、ブリは平年の0.1倍でした。

【令和6年12月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マアジ	1,357トン	158%	90%	28.9トン	161%	170%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	—	—	—	—	—	—
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	キダイ、マダラ、アナゴ・ハモ類	266トン	119%	87%	14.8トン	126%	97%
小型 底びき網	大田	ニギス、ヤリイカ、ソウハチ	122トン	78%	56%	792 kg	101%	95%
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、ソウダガツオ	147トン	94%	91%	12.2トン	71%	84%
	石見	サバ類、マアジ	17.5トン	56%	60%	4.4トン	56%	55%
	隠岐	ソウダガツオ	25.8トン	638%	296%	8.6トン	425%	283%
釣り・縄	出雲	サワラ類	11.9トン	40%	47%	27.1kg	73%	82%
	石見	クロマグロ、ヒラマサ	11.5トン	44%	50%	26.3kg	72%	96%
	隠岐	クロマグロ、ブリ	6.4トン	30%	31%	19.5kg	57%	61%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ